



高橋余一の「生活絵巻」

01 生活空間を描く



高橋余一…明治31年岐阜県加茂郡古井村(現・美濃加茂市)に生まれる。町議会議員、教育委員、民生委員ほか多くの公職に就き、行政、地方文化の発展に貢献した。昭和59年に87歳で没。

高橋余一の描いた「生活絵巻」は、明治期から昭和期にかけて加茂郡古井村(大正13年からは古井町、現・美濃加茂市)に暮らした人たちの日常をシンプルな画風で描いたものです。

添えられた文とともに「記憶」の遺産として歴史的な価値が極めて高いものであり、平成5年には貴重な記録資料として市指定有形文化財に指定されました。

時代とともに消えていったかつての暮らしの空間が「生活絵巻」にはあります。これから連載していく「生活絵巻」の中に、現代の私たちに託されたメッセージ「暮らしのありか」を探していただければ幸いです。

■「生活絵巻」全巻

